



高齢者の視点からアドバイスしましょう
 避難所作りなどに皆様の知恵や経験が反映されるよう積極的に意見を伝えてください。

○ あなたの視点から子供をまもる

子供達を見守りましょう
 入トシ入の高い避難所では、子供達への本の読み聞かせや保護者代わりの見守りが、防犯面だけでなく子供たちの心の健康面からも大切です。

緊急の場合は、その場で110番通報しましょう

こんな非常時にと思う必要は全くありません。我慢したり、見て見ぬふりをするとか犯人を上げ上からせ、さらに深刻な状況を招きます。

避難所の相談員に伝えましょう

どうしても躊躇してしまつてという方は、身近な第三者を通じて通報を。

○ 犯罪被害はすべてに110番

○ 知ることがまもりになる

大規模災害が発生すると、混乱に付け込んだ犯罪が増加します。災害や犯罪から身を守るには、どんなことに気を付けるべきかを知っておくことが大切です。もしものときの備えとして、ぜひ、ご活用ください。

○ 助かることが助けること

全力で助かりましょう

災害時は一刻の猶予ありません。救いの手を拒み「私はいから他の人を助けてください。」とやり取りするのは、時間を浪費して多くの人命救助の機会を奪います。あなたが助かることが人を助けることになるのです。善意には快く応じ、すぐに逃げてください。

頭とからだを使いましょう

せっかく無事に避難しても、体調を崩して重とくな病気(生活不活発病)になることが非常に多いと言われています。原因は「することがない」ことです。社会参加をして、健康を保ちましょう。



長期不在をさとられないよう工夫しましょう
 不在時は新聞・郵便物をとめるなどの工夫を。

震災被害が大きいほど、犯罪が発生しやすいと言われています。それは不在世帯が増える監視する人の目がなくなるためです。健康な方は若者と一緒に見せる警戒をしましょう。

○ 「火事場泥棒」から地域をまもろう

こんな犯罪が増えます

- ◆ 避難で無人となった住宅を狙った泥棒、女性・子供を狙った性犯罪
- ◆ 公的支援金貸付融資や住宅修繕にかこつけた詐欺
- ◆ 衣服や食料品など生活必需品を高値で売る悪質商法

情報を集めましょう

警察からの犯罪情報に注目しましょう。

多くの目で地域を見守りましょう

○ なやまず相談

相談窓口の活用

相談先が不明なときは、避難所の相談窓口で連絡先を聞きましょう。

◇相談機関()

高齢者虐待を目にしたら

高齢の方が、身内の方等から暴力や介護放棄等をされているのを見かけたら、最寄りの警察署か の包括支援センターに通報してください。

◇ (Tel.0946-22-0110)

◇包括支援センター(Tel.)

※一方、困っている若者がいたら声を掛けてあげましょう。

防災 長寿

防災防犯マニュアル
 ～ 銀のまもり～

(作成:静岡県警察災害対策課)

※ 番号順に点線を山折りし、財布などに入れて活用して下さい。